

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ事業への協力		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・未定		担当課室	国際統括官付		国際統括官付 国際戦略 企画官 靱井 圭子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	ユネスコへの信託基金の拠出を通じて、世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、日本が国際社会において主導的役割を果たすことを目指す。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	ユネスコに対して、「アジア太平洋地域教育協力信託基金」、「持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金」、「ユネスコ地球規模の課題解決のための科学事業信託基金」を拠出し、ユネスコを通じた加盟国に対する教育及び科学分野における協力事業を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	402	332	257	230	
		繰越し等	-	0	0	0		
		計	-	402	332	257	230	
	執行額	-	402	332				
	執行率(%)	-	100.0%	100.0%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	日本が国際社会において主導的役割を果たすことは、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる定量的な成果指標の設定は困難			-	-	-	-	-
	達成度		%	-	-	-		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込 み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施事業数			件		18 (18)	24 (19)	- (17)
単位当たり コスト	13.8 百万(円/件)		算出根拠	= 予算執行額(332 百万円) ÷ 実施事業数(24 件) ※平成24年度				
平成 25 ・ 26 年 度 予 算 内 訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	政府開発援助ユネスコ事業等拠出金	39百万円	33百万円					
	ユネスコ事業等拠出金	218百万円	196百万円					
計	257百万円	230百万円						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<p>国連の専門機関であるユネスコを通じた支援であり、当該事業の対象国と我が国との間に相互理解と人的協力の関係を深めるもので、ユネスコ活動に関する法律の趣旨に合致している。</p> <p>我が国が実施してきた人材育成、研究事業等の成果を踏まえつつ、開発途上国の持続的発展に寄与するため、引き続き我が国が世界の情勢を鑑みながら実施すべき事業である。</p>		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	<p>事業を実施するユネスコ本部や地域事務所から事業が提案され、ユネスコ本部(財務管理部)による活動支出のチェックが行われた上で、我が国が承認する手順をへている。</p> <p>国連の専門機関であるユネスコを通じた支援であり、我が国の会計年度ごとに計上される予算を適切に拠出している。</p> <p>我が国及びユネスコ本部は、各事業をモニタリングするとともに、毎年開催される本信託基金のレビュー会合において、基金の運用及び事業の進捗・成果について厳正に審査するなど、その必要性は適切にチェックを行っている。</p>		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<p>ユネスコは国連機関のうち、教育・科学等を所掌する専門機関であり、ユネスコが持つ専門性及び経験を活用できることから実効性は高い。</p> <p>事業提案及びレビュー会合時に調整を行い、重複を避けた効率的な事業が行われるようチェックしている。</p> <p>我が国は、ユネスコ本部・地域事務所に対し、実施した事業成果に関し、途上国への影響、継続性の確保等について、定期的にフォローするよう要請している。</p>		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、ユネスコへの信託基金の拠出を通じて、世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、日本が国際社会において主導的役割を果たすことを目指すものである。また、ユネスコは現在、米国の拠出停止により非常に厳しい財政難に直面しているため、引き続き信託基金を着実に拠出するとともに、より効果的・効率的な信託基金事業の実施を図り、我が国としての貢献及びプレゼンスを示す必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、ユネスコへの信託基金の拠出を通じて、世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、日本が国際社会において主導的役割を果たすことを目指すものであり、拠出の妥当性等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、平成25年度までに予算額を縮減するなど一定の見直しを図っており、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年		平成23年	新23-0006	平成24年	0017	

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
332百万円

〔 ユネスコ事業への協力 〕

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)

ユネスコ事業への協力
332百万円

〔 ユネスコに対して、「アジア太平洋地域教育協力信託基金」、「持続可能な開発のための教育交流・協力信託基金」、「ユネスコ地球規模の課題解決のための科学事業信託基金」を拠出し、ユネスコを通じた加盟国に対する教育及び科学分野における協力事業を実施する。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ事業への協力	332			
計		332	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユネスコ	ユネスコ事業への協力	332	—	—

※拠出金事業であるため、「入札者数」及び「落札率」は記載なし